

第16回全国路面電車サミット2024宇都宮スケジュール

テーマ 「ライトラインから都市交通改革を全国へ」

宇都宮市では30年の検討の末、国内では初の完全新設のLRTが開業した。世界ではLRT新設は宇都宮市が214都市目(服部重敬氏調べ)となる。また超低床電車の普及は1997年熊本導入以来26年が経過しても、全国692輛中180輛(2023年末ラクダ調べ)にとどまり、電停のバリアフリー化も遅れている。私達はLRT開業によって劇的な変化を遂げた宇都宮に集い、日本の路面電車の質的改善やLRTの新設がどうして進まなかったかを検証し、都市交通への再投資を全国に広める議論をしたい。

スケジュール

1月27日(土) 19:00 全国路面電車サミット懇親会 ライオンズヘッド駅東口店 参加費5000円

1月28日(日) 9:00-14:00 全国路面電車サミット本会議、ライトキューブ宇都宮、参加費2000円

9:00 開催挨拶

全国路面軌道連絡協議会 広島電鉄 挨拶

国土交通省都市局街路施設整備課 挨拶

来賓挨拶

9:20 講演「宇都宮ライトラインと市民運動」 奥備一彦(雷都レールとちぎ代表)

9:50 愛好支援団体の近況報告 トピックのある団体

10:20 ブレークタイム、各団体パネル展示で交流会

10:50 パネル討論「ライトラインから都市交通改革を全国へ」 どうして出来なかった日本のLRT4

司会 松原光也(RACDA高岡、名古屋大学環境学研究科研究員)

基調報告 「LRTの日本、世界の動向」

服部重敬(一般財団法人 地域公共交通総合研究所研究員)

基調報告 「熊本から今いちど真面目に都市交通～車1割削減、渋滞半減、公共交通2倍を目指して～」

太田恒平(トラフィックブレイン代表取締役社長) 交通分析

基調報告 「都市交通政策の復権を求めて～活性化再生法時代をいま振り返る～」

国交省はなぜここ15年間、都市交通を語れなくなったのか

何 功(一般財団法人 計量計画研究所 / IBS都市地域・環境部門 研究員) 制度

パネラー 古池弘隆(宇都宮共和大学シティライフ学部特任教授)

講評 「富山・高岡の取組みをふまえて」

本田 豊(富山大学都市デザイン学部教授)

12:50 サミット宣言、

～14:00 ランチタイムセッション